

(第1号様式)

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	横浜修悠館高等学校	課程・学科 教育部門・学部	単位制・通信制課程・普通科
-----	-----------	------------------	---------------

1 学校のミッション

通信制の高校として、生徒の卒業や進路等の目標の実現に伝えるため、生徒の柔軟な学びに配慮した教育課程により、生徒が必要に応じ個々の科目を選択して履修することを基調としたカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

これまで、生徒の自立と円滑な社会参加を実現し、新たな可能性を導き出すことをめざして、生徒が安心して学習を行うための工夫や、きめ細かな学習支援に向けて不断の授業改善を行ってきた。また、生涯に渡って学び続ける力など、これからの時代に必要な資質・能力の一層の育成に取り組んできた。

今後は、学校全体で、他校の生徒を受け入れる通級による指導の導入校として、特別の教育課程の編成とそれに伴う指導の実践により、生徒の多様な教育的ニーズに即した、必要な支援に取り組む。

2 学校教育目標

【学校教育目標】

- 安心安全な学習環境の提供
- 学習相談・キャリア相談体制の充実
- 生徒活動の推進

【育てたい生徒の力】

- ◎「自立と社会参加」のための自己理解力と相談する力

自分の力を他者のために生かし苦手なことは他者と協力して生きる共生社会の担い手を育てる

3 計画策定時点での課題

○実活動率は教員から生徒へのさまざまな働きかけによりこの4年間で64%から78%まであがってきたが、単位修得率、卒業率は伸び悩んでいる。

○発達障がい等の様々な障がい、不登校経験、外国につながる、高校中退後の学び直し、経済的な事情を複合して持つ生徒の在籍（転編入）が増加している。

○集団で学ぶことが困難で少人数や個別の学習環境を希望する生徒、保護者のニーズの高まりから、私学の通信制高校を希望する生徒が増加している。

○今まで以上に一人ひとりの生徒に対する指導の個別最適化が求められ、高等学校通信教育の「柔軟な学びのシステム」を全職員が活用し、生徒が卒業後の「自立と社会参加」を目指すため、単位修得率を上げるカリキュラム・マネジメントをする必要がある。

○本校が12年間構築してきた【重層的支援システム】の「修悠館スタンダード」「トライ教室」「自立支援の会」「修悠館サテライト」「キャリア活動」「支援データベース(DB)」「修悠館マイページ」「通級指導」の継続発展が必要である。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が高校生活の中で自らを伸ばさせることができるよう、新教育課程編成や授業改善に取り組む。 ・教員間の協力による学習支援体制を確保し、個に応じた学習指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT（パワーポイントやスマホ等）を活用したスクリーンングを展開し、思考力、判断力、表現力等、通信制生徒の学びに向かう力の定着を図る。 ・レポート完成講座や個別対応など、個に応じた学習指導の充実を図り、生徒一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな学習支援を推進し、卒業に向けて学び続ける意欲の定着を図る。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する生徒の実態を踏まえ、すべての生徒が安心して学校生活を送ることができる環境を維持する。 ・生徒一人ひとりに応じた支援体制の個別最適化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個の特性を理解した生徒支援と、ルールの周知徹底を図ることで、問題行動の未然防止に努め、安心・安全な学校環境の構築を推進する。 ・多様な生徒の実態を把握するため、データベースの情報を有効利用することで生徒個々の教育的ニーズに沿った支援を充実させる。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が社会的、職業的自立に向けたキャリア形成を実現できる就労支援や進学支援の充実を図る。 ・生徒個々の実態に沿った多様な支援により、将来の就労や社会参加に向けた意欲の形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々の特性や多様化するニーズに対応した、就労支援や進学支援を実現する。 ・多様な生徒個々の実態に沿った支援を充実させるため、関係機関との連携を深めるとともに、通級指導の実施により就労支援や社会参加へつなげる。
4	地域等との協働	<p>地域や近隣の小中学校などと連携の上、協働の体制を構築して、地域に貢献し、地域から信頼される学校づくりに努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や関係機関との連携を密にして、生徒の社会性を育む一翼を担ってもらい、信頼される学校づくりを目指す。 ・各種行事等への相互参加を通じて、相互理解を深め、信頼関係の構築に努めると共に、生徒の自己有用感を高める。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自分自身で様々な能力を伸ばできるように、教職員の技能向上並びに生徒へのサポート力の向上を図る。 ・学校を取り巻く教育環境の変化に対応し、すべての教職員が課題に取り組み続ける学校文化を継承する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の充実したICT環境の質と利用しやすさを向上させるとともに、日常の学習活動にも取り入れやすい環境整備に努める。 ・すべての教職員が、教科指導のみならず学校業務全般への意識を高く持ち、とりわけ防災意識及び、緊急時における学校対応のさらなる向上に努める。